



さいとうかずのぶ 齋藤一信 議員

もっと活用 ふるさと納税
がんばる団体を支援したい

議員 市民活動に支えられたまちづくりを活性化させるため、NPO法人等へのふるさと納税の活用を促す条例改正の検討が必要。NPO法人支援及びそれに伴う条例改正について考えをたずねる。

市長 笠岡市に事務所を置き、活動されているNPO法人を応援したいというふるさと寄附金の受け入れは、笠岡市のまちづくり推進方針を踏まえ、前向きに取り組みたい。制度改正に当たっては、関係各課やNPO法人等との調整、条例改正等が必要となるので、早期実施を目指し準備を進めたい。

議員 ふるさと納税の返礼品の選定方法をさらに自由度を上げて、よりオープンになる体制づくりはできないか。



総務部長 広く募集して魅力のある品目を増やしたい。时期的には1月中には募集をして、来年4月には品ぞろえができ、新たな魅力の品がそろおうよう進めたい。

行政のリーダーシップで
北木の石文化を後世に

議員 北木の石文化は日本の精神文化及び多くの日本を代表する近代建築を支えてきたすばらしい歴史がある。日本を代表するこの石文化を後世にいかに残し、伝承していくかは重要。本市の考えをたずねる。

教育長 学芸員の育成も兼ねた北木の学術的な研究は相当時間がかかると思われるが、前向きに検討させていただきたい。



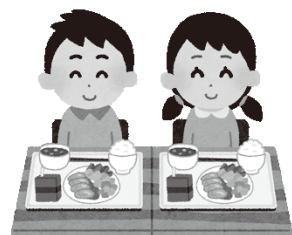
ふじいよしあき 藤井義明 議員

水道料金値上げは？

議員 新聞報道によりますと、近年多くの自治体が水道料金の値上げを行っているが、笠岡市も老朽化、料金収入の減少等、例外ではなく、水道給水収益は過去5年間で約1億円の減収、有収率は、90%を下回っている。今後値上げも視野に入れなければ、水道事業は立ちいかなくなるのではないかとずねる。

市長 水道事業を取り巻く状況がますます厳しくなる中で、水道設備の中・長期の更新計画を次期水道ビジョンに反映させ、水道料金についても、更新財源の確保と合わせて検討してまいりたい。

議員 笠岡市は、陸地部の水道管、海底送水管を含め、更新のために幾らの財源が必要なのかたずねる。



市長 中・長期計画の検討の中で、耐用年数を1・5倍の60年に延命策など実施した場合でも40年間で約300億円、年間7・5億円の事業費が予想されている。

平成30年給食センター
完成予定！

議員 給食センター建設は、平成30年完成を目指しているが、今後のスケジュールをたずねる。

市長 来年9月を目途に、新学校給食センターをPFI事業の本契約が出来るように進めている。

議員 幼稚園の給食実施時期について尋ねる。

市長 小・中学校と同じ平成30年4月から実施していきたい。

